

土木工学科棟 建設へ地鎮祭

静岡理工科大 来春開設
静岡理工科大(袋井市豊
沢)の新校舎建設に向けた



土木工学科棟(仮称)の完成
予想図。静岡理工科大提供

地鎮祭が二十四日、建築学
科棟北側の建設予定地であ
った。二〇二三年四月の開
設を目指す土木工学科棟
(仮称)で、文部科学省に
認可申請中。認可される
と、県内の大学では初の土
木工学科の設置となる。

理工学部の新設する土木
工学科は入学定員五十人。
新たに建設する土木工学科
の専門棟は鉄筋コンクリー
ト造り四階建て、延べ床面
積約三千四百平方メートル。開放
的なワンルーム階層の校舎
で、格子状の天井をコンク
リートの巨大な二本の柱で
支える構造が特徴。講義室
や研究室、ゼミ室、多目的

作業室、休憩テラスなどを
備える。新校舎に隣接して
津波水理・構造・地盤実験
などができる平屋の実験棟
も整備する。

地鎮祭には橋本新平理事
長、野口博学長、建設関係
者ら約三十人が出席。神事
をして工事の無事を祈っ
た。二二年十月の完成予定
で、土木工学科棟の使用ま
では既存の教育棟などを活
用するという。

野口学長は「県内にある
大学として、防災・減災に
対応する十分な知識・技術
を持った人材の育成を図っ
ていきたい」と話した。

(土屋祐二)